

平成22年6月19日(土)
「両丹日日新聞」に
記事が掲載されました。



集まつたアルミ缶を毎朝、各クラスから校庭のコンテナに届ける生徒たち

**東南アジアの森再生へ
アルミ缶回収で苗木購入**

みんなで協力し
4日間で5万個

福知山市新庄の成和中学校生徒会(吉川智大会長、337人)が、アルミ缶回収運動(グリーンUPプロジェクト)を取り組み、3年目を迎えた。換金した収益は苗木購入費となる。東南アジアに植林され。地球温暖化防止に貢献するのが大きな狙いで、今年度1回目となる18日まで4日間の活動で、目標の3万個近く(苗木約750本分)が集まつた。

東南アジアの森は、倍で過去最多となる5万個近く(苗木約750本分)が集まつた。しかし、森林破壊が深刻で、熱帯雨林の再生が急務。これを知った生徒会は、昨年から、現地に行くことなく支

援できるアルミ缶回収を始めた。生徒それぞれが持ち寄ったアルミ缶を毎朝、各教室の回収袋に入れて、それを校庭にあるアルミ缶収集専用のコンテナに入れる。これまで年2、3回回収期間を設けたが、それは年々、2週間の回収期間を設けたが、今日は4日間と短く目標を約1万4000個に設定していたが、連日予想をはるかに超える勢いで集まり、集計すると約5万個に上つた。

今まで3万個を超えることはなかったが、今回は生徒会本部役員7人が中心になって「東南アジアに成和の森をつくろう」と、生徒大会、校内放送、チラシを通じて事前啓発に力を入れた。活動の趣旨が地域に浸透し、地域のスーパー、商店などからも大量のアルミ缶が寄せられた。アルミ缶は市内の業者に引き取つてもら

い、換金し、収益を印度ネシアなどの熱帯雨林の再生事業をするNPOアジア植林友好協会に送る予定。
1秒間に成和中のグラウンド一つ分の面積の森林が地球上から失われるといわれ、地球生物の減少などさまざまな悪影響が出ているという。

吉川会長は「近所の人たちにも協力を呼びかけ、みんなとても頑張ってくれた。各クラスでの仲間作りにもつながったと思う。できれば2、3学期にも活動したい」と喜んでいた。

大・大・大成功!!!

第6回

「グリーン UP プロジェクト ～成和の森を作ろう～」

過去2年間で最高の回収数を記録!
全校のみなさん 本当に
ご協力ありがとうございました!!

生徒会本部